



洗濯屋さっし
洗濯右四

のしきにか
能島虹香
洗濯済み価格：W-235670号

のしきにか
能島愛珠
洗濯済み価格：W-235671号

迂闊にも車内で寝落ちして

何駅もすっ飛ばして降りた駅は^{はしゅ}

俺の知らない街だった…

^{せんじょう}

洗淨駅

^{のうあらい}

——脳洗市…

スマホで確認すると

一応は都内に収まっているらしい

知らない街ではあるが

まあ、さして問題は無いだろう。

さて…

丁度いい奴^のは
居るかな？

スマホのアプリから
都合の良い〔肉^{にく}〕の
家を検索^{さが}す…
歩きたくないから
できれば駅近の距離で
到達^{いけ}るのが好ましい

ふうん、結構いる
じゃねえか……
どれにすっかなあ

近場で母娘揃セツいか……
悪くねえ決まりだな

男が操作するアプリには洗濯屋の
提供している「洗濯済み」の
個体のデータが表示されていた
近場で絞っても結構な数の
洗濯された肉が揃っている。

洗濯屋の特別会員の
一人である男は
この肉達を自由に使用する
権利を有していた
そして今回、男が選択した
肉というのは…

一人目が未亡人の

のじまあず

能島愛珠、駅近の距離に一軒家で
娘と共に暮らしている…

のじまあず

能島愛珠

識別ナンバー：W-235671号

二人目がその娘の
のじまにか
能島虹香である。

の じ ま に か
能島虹香
識別ナンバー：W-235670号

昼も過ぎた時間帯の静かな住宅地
男は能島家の前に立つと
インターホンを
躊躇うこともなく押した。

ピンポン…と言う
お決まりの音が鳴り
しばらくするとスピーカー
から家主の女の声がする

ハイ、もしもし？

会員番号W-KX7P9M2L
命令だドアを開けろ

……は、はい？
あの……えっと
わかり、ました？

短い沈黙の後
スピーカーから
困惑したような
女の声が漏れる……



あの…何か
御用…？
でしょうか…？

開かれたドアの先に
現れた能島愛珠…
丁寧に尋ねるその声と
瞳の奥には自分がなぜ
見知らぬ男の命令に
素直に従ったのか
理解できない戸惑いが
揺れている…

娘は今ここに
居るか？

え？...

ああえっと...

虹香^{にか}ちゃんは
まだ帰宅^{かえ}って
きてなくて...



残念だが
娘の方はまだ
帰宅していないらしい
だが時間的にその内
帰ってくるだろう。

男はスマホのポケットから
1枚のカードを取り出すと
愛珠に向けた…





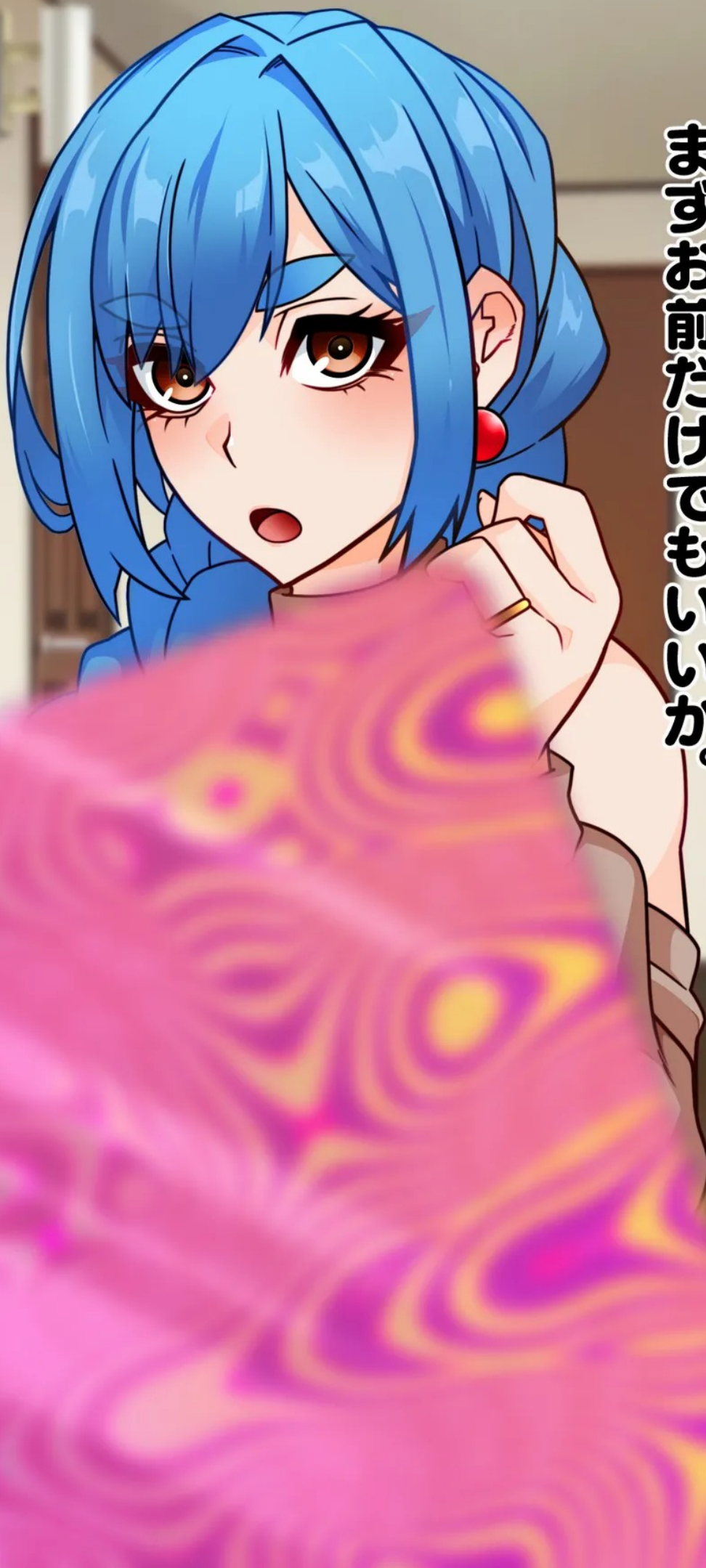


なら…

まずお前だけでもいいか。

そう言う男は

目の前の元・人妻に向かって…





会員番号
W-KX7P9M2L
起動しろ。

あー……



能島愛珠!! 識別ナンバー

W-235671号

命令待機モード起動しました。



ご主人様の命令を
お待ちしております。

全裸になった彼女は
機械的な声で宣言し
敬礼する。

まるで脳内スイッチが
切り替わったかのように
一切の躊躇もすることなく
衣服を脱ぎすて…



洗濯屋から提供される
肉達は会員番号を使うだけでも
基本的に命令に従うが
会員証を使い：



起動させる事で
更に従順な肉人形
として覚醒めるのだ。

今、眼前で微動だにせず
待機している肉は
俺の命令にはどんな内容でも
喜んで絶対服従する…

自分自身の生命が
危険に晒される行為で
あったとしても
躊躇はしないだろう…



もちろん、そんな事を命令^すれば
会員資格を失う事になりかねない
ので・出・来・る・限・り・は・命・令・し・ない・が

とりあえずは
娘が帰宅ってくる
まではコッチで
お楽しみだ…

人格オフ
マンコ開いて
直近の使用
履歴を答えろ

人格停止
しました…

直近での会員様による
使用履歴はありません。

ぱん



あず
愛珠は俺の命令に
即座に従うと、両手で
マンコを広げ無機質な
声で淡々と応答する…

……

左手の薬指には
中古の証がキラリと
光っている。



他の会員が使用^った
後の穴に挿入^{いれ}るのは…

あまり気分が良いモノ
ではないので今回は
運が良い…と思ってい



お母さん
ただいま〜って

アレ?

誰か来客^きてるのかな?
知らない靴があるや。



どうやら
娘の方も帰宅^{かえ}って
きたようだし丁度いい…



ただいま
こんにちわ…

…アレ?



会員番号

W-KX7P9M2L

起動しろ。



あー……



能島虹香!! 識別ナンバー

W-235670号

命令待機モード起動しました。

ご主人様の命令を
お待ちしております。

ビッ



これで、この肉も
俺に絶対服従し
命令を実行する
肉人形として覚醒た

母親と同じ動きで
衣服を脱ぎ捨てると
同じく敬礼し待機する。



愛する娘が見知らぬ男の
命令によって肉人形へと
変わるその瞬間ですら…

俺の命令通りに
マンコ開き続けて
無感情に待機する母親。



せんとう
洗濯済みの肉は

やはりこうでないと
興奮しない。

とりあえず
お前はチン媚び
腰へこしてろ

かしこまりました
ガニ股チン媚び
無限腰へこを
無様に繰り返します。





俺が命令すると虹香はすぐさま
その場でガニ股姿勢になると
へこへこと腰を前後に振り始めた

その表情には
命令を実行する
唯一その思考のみが
張り付いていた。



お前のマンコを
使用する

かしこまりました。

当然コイツの人格は
停止したままだ
肉に自我を表現されると
萎えるからな…



IP
F

機械的に腰を
上下させる肉人形…

洗濯屋によって脳ミソ丸洗いで

完ッ壁に洗濯され尽くした

その魂は、もはや瞳の奥底にすら

少しの自我も存在していない。





のじまあず・た物が
能島愛珠だった物が
自らのマンコに見知らぬ男の性器を
無感情に挿入んで処理している…



他の会員がどうかは
知らないし興味も無いが…

この征服感こそ
洗濯屋の提供するサービス
でしか得られない快樂
だと俺は思っている。



ドッ

ビュ

会員様の射精を
確認しました…

このまま使用の
継続をされますか？

はい



まるで他人事のように
感情を失った肉の穴が
機械的に反応する。



母親が見知らぬ男の性処理道具
として機能している間も止まることなく
腰をへこへこと前後させていた肉人形へ
視線を向け命令する。

人格停止
次はお前の
マシコ
肉穴を使う。

ピン
クッ

かしこまりました
人格を停止し
ご命令に従います。

オナホ

母親と同様に他人事で
応答した虹香は
肉穴にチンポを挿入する。

完璧に制御されている
肉体には前戯すら必要なく
機械的に腰が前後に稼働する。



.....

親娘揃って肉人形に
処理されたという実感と
娘の空虚な瞳が興奮させる...



ゴ
ゴ

ゴ
ゴ



先の余韻もあって
二度目に至るのは早かった。

会員様の射精を
確認しました

射精前と一切変わらない
その表情が男の欲望を
程よく刺激する…



清掃しろ…

端的に命令すると虹香は
肉穴から引き抜かれたチンポへ
躊躇う事なく吸いついた…
強力なバキュームが汁を吸引する。





肉人形の整った面が
歪に変形して機械的に
チンポを洗淨していく
まさに至福の瞬間だった。



母親の方も命令してないので
待機したまま動かない。

自分の娘がどんな扱いを
されようと何も感じていない…



まるで神にでもなったかのような万能感
しかしコレはあくまでも洗濯屋が提供する
サービスにすぎず男の力ではない。

そして恐ろしい事に
これほど破格のサービスを
提供している洗濯屋だが
会員資格を維持する条件は
とてもシンプルだった…

洗濯屋のお願いに
一度だけ従う事……



洗濯屋からのお願いは
何時何処で何を
指定されるかは分からない…
噂によると生命を要求されたとか
指定された店で決められた日時に
ただ食事をするだけだったとか
とにかく様々だ…

男は幸いにも洗濯屋からの
お願いはまだ体験した事は無いが
かつて親娘だったこの二体の
肉人形達のように…

自分にもいづれ
拒否する選択肢の無い
何かを命令される時が来る
のかもしれないと
ぼんやり思いながら、それでも今は
この手にした特別な特権を
堪能する事にしよう。

たのしむ



！：アナタ様も。

わたくしども
洗濯屋のサービスを
ご利用なさいますか？



